

令和2年10月定例教育委員会会議録（要点筆記）

日 時：令和2年10月22日（木）9時30分～11時50分
場 所：基山町庁舎201会議室

教育委員：出席（3人）：田口委員、津川委員、福永委員
：欠席（1人）：亀山委員
教育長：柴田教育長
事務局：井上課長、酒井係長、音成指導主事、山内指導主事
傍聴者：1人

1 開 会

教育長

- ・各学校とも、コロナ禍の中であるが、工夫をして学校行事を実施している。小学校2校とも5年生は、宿泊体験学習を無事に終えた。基山小は脊振少年自然の家で、若基小は夜須高原青少年自然の家で、それぞれ貴重な体験活動ができた。また、本日（10月22日）より、6年生は1泊で長崎に修学旅行に行っている。また、23日は、1年生から5年生がバス旅行に行く予定である。
- ・小規模特認校制度については、就学時健診でチラシを配布して周知。27日（火）は町民会館で説明会を予定している。
- ・G I G Aスクール構想についての進捗状況を報告していく。

2 教育長報告

（1）教育長会報告

①9月県議会報告

- ・少人数学級について
⇒現段階で、1年生は35人学級、2年生も県独自の制度で35人学級を実現している。県教委としては、今後も、35人学級の定数拡大を段階的に目指していく。
- ・「一般質問」で、教員の人材育成、課題のある教員への対応についての質問が出た。

②令和3年度の人事異動に向けて

- ・女性管理職が働きやすい環境へ
⇒佐賀県は、全県下での異動になる。
⇒遠方や離島などへの勤務については配慮する方針である。
- ・管理職の働き方改革
- ・全県的視野に立った適材適所の人材配置

③不祥事の防止について

- ・実効性のある「不祥事ゼロの日」の取組の実施
⇒「自己チェックリスト」で自己評価をしたり、事例の紹介をして協議をしたりして、各学校で不祥事の防止に努めていく。

④人事異動

- ・管理職試験、離島関係、統括事務長について
⇒離島については、管理職は2年、その他の職員は3年が原則だったが、希望者が少ないので、2年サイクルで勤務するように検討中である。
⇒統括事務長については、支援室長を兼ねるといように制度が変わる。

(2) 秋季市町教育長会総会・研修会 落合県教育長を交えての意見交換会

①新型コロナウイルス感染症対策等について

- ・各市町の学校行事等の実施状況はさまざまである。宿泊行事についても、中止にしたり、県内の施設に変更したり、日帰りにしたりなど。
- ・唐津市では、児童生徒の机にアクリル板を設置。消毒作業が煩雑、黒板が見えにくいなどの問題点があるとのことであった。
- ・玄海町では、先生側にアクリル板を設置。子どもたちは、マスクなしで授業を受けている。
- ・教師はフェイスシールドやマウスガードをし、児童生徒に教える内容がよく伝わるよう（口の動きがよくわかるように）原則マスクなしで授業をするという市町もある。
⇒しかし、互いにマスクをすることで、「うつらない、うつさない」が保たれるのではという見方もある。フェイスシールドやマウスガードでは、完全に飛沫を防ぐことはできない。活動の内容によっては、それらが有効のときもある。
⇒基山町でも、フェイスシールドやマウスガードを購入して、必要に応じて、使用している。
- ・各学校とも、学校行事を工夫して実施している。
⇒生徒集会、全校集会、児童会の話し合いなど・・・オンライン形式
文化発表会・・・平日開催で学年別開催
- ・10月に入り、各市町ともに授業参観も分散型で実施。
⇒学年別、地区別など市町によって工夫して開催している。基山町でも、10月より、授業参観を実施。

②携帯電話の取り扱いについて

- ・前回の意見交換のときからの進展は特になし。
- ・どこの市町でも原則は持ち込み禁止。必要がある児童生徒のみ、申し出て、担任が預かり、下校時に返却等の対応をしている。

③その他（フッ化物洗口について）

- ・今までの試薬が劇薬扱いとなったため、他の薬剤（ミラノール、オラブリス）への切り替えを各市町ともに行う予定である。
- ・新しい薬剤は、価格が高いため、これまで薬剤師に洗口液を作ってもらっていた市町は、学校で作ることになり、課題を抱えている状況。
- ・ミラノールに変えたところでは、液の味に抵抗があって嫌がる児童生徒もいる模様。
⇒基山町では、今年度分は確保済みなので実施可能である。来年度から、新しい薬剤に切り換えることになる。値段が高いため、行事があるときは、他の曜日

に移動させてまで実施しないなど全体回数を減らすことになるかもしれない。

(3) 県ICT利活用推進会議

①県教育委員会の取組

- ・オンライン授業に取り組んでいる市町もある。
- ・各学校での端末の利用状況は様々で、毎時間の授業で9割程度利用している学校から、1割程度の利用まで大きな差がある。概ね3割程度利用している。

②佐賀市のICT利活用に関する事例紹介

- ・プログラミング教育に関する研修会の実施等

③県教委のGIGAスクール構想へのバックアップ構想について

- ・今年度「意識化・構造化」、来年度「具体化」「実践」
- ・研究指定校を設ける、訪問支援を行う、スキルアップ研修を行うことなどを計画中である。
- ・オンライン研修の実施に向けて提言している。多くの教師がオンラインを体験することが何よりの研修になる。県は、Windows版で、ソフトウェアの使い方が中心になるが、基山町はChromebookでクラウドを活用したコンテンツの使用となるので、少し考え方が違ってくる。

④持ち帰り学習への対応

- ・県は、家庭に環境がない生徒は、学校に来校させて対応し、家が遠い生徒のみに通信環境とsimカードを提供予定である。(新聞記事参照)
- ・基山町では、基本的には学校での活用を考えている。夏休みなど長期休業中に持ち帰らせて、それまで夏休み用に購入していたワークブックの費用をデジタル教材に変えて、端末を用いて学習させることを考えている。
- ・多久市では、充電保管庫を購入せずに、児童生徒に毎日持ち帰らせて、充電は家でさせる方針である。

(4) 上峰町オンライン授業参観

- ・5月に実施されたが、使い方を忘れないように10月にも実施された。
- ・ZOOMを使用したオンライン授業で、中1では、約4分の1の生徒が繋がらないトラブルもあった。ソフトウェアのアップデートができていなかったことが原因ではないかということだった。
- ・教師2名体制での授業(1名は機器の操作を指導、1名が授業をする)また、家庭からのトラブル対応の電話もあって、大変そうであった。
- ・想像以上に、オンライン授業は難しさがある。夏休みに学級での健康観察や顔合わせなどはできそうである。
- ・鳥栖市は、プロジェクトチームを作って、デジタルコンテンツの作成をしていると聞いている。

(5) 連絡・協議事項

①新型コロナウイルス感染症対策関係

- ・まだ隣と机を合わせる時期ではないので、机や椅子の距離は、できるだけ1mを基本にするように学校に伝えている。

- ・スクールサポートスタッフについては、各学校に2名ずつ配置。
- ・3学期から、学習指導員を基山小学校、若基小学校に配置できるよう検討中。
(一人4時間勤務で、基山小に2名、若基小に1名配置予定)

②小規模特認校制度関係

- ・就学時健康診断(基山小校区)にて、チラシ配布。(10月12日)
- ・基山小学校、若基小学校の全校児童へプリント配布。
- ・町HPでの周知、動画も掲載中(10月12日)
- ・「広報きやま」での周知(10月15日)
- ・町民会館で住民説明会を実施し、小規模特認校制度について周知及び意見聴取の予定である。(10月27日(火)、11月6日(金))

③台風被害(基山小学校の体育館屋根)に関する報告

- ・引張検査の結果を実施した結果、施工については問題がないと判明。
- ・11月9日の臨時議会で予算を計上する予定。

④GIGAスクール端末関係

- ・10月19日に、2社によるプロポーザルにて、機種が決まった。

【機種】

- ・NEC ChromebookY1 GEN2・・・これは5月モデルだが、7月モデルになるかもしれない。
- ・CPU インテル Celeron プロセッサN4020
- ・ディスプレイタッチパネル、解像度：1,366×768ドット、サイズ：11.6型
- ・メモリアイプ：LPDDR4、容量：4GB(オンボード)
- ・内蔵ストレージタイプ：eMMC、容量：32GB
- ・コネクタとスロットUSB Type-C コネクタ×2、USBコネクタ(USB 3.0)
⇒研修に関しては、職員が現在使用しているPCを用いて、アカウントを取って研修する予定である。できるだけ早く、研修をする予定である。
⇒Googleアカウントがあれば、iPadでも使用できるので、職員はwindows及びiPadでも教材を作成することができる。

【導入による期待される効果】

- ・きめ細かな個別学習ができるようになる(補充、深化)
- ・授業準備や成績処理等の負担軽減にも資するものであり、教師の働き方改革に繋がるだろう。教材の共有、同時進行での共同作業等ができる。
- ・不登校対応では、オンラインでの対面授業などができる。
- ・特別支援学級在籍の児童生徒にも、特性や興味関心に応じての活用ができる。大いに役立つだろうと考える。

⑤各種文書への保護者押印について

- ・文部科学省は20日、全国の教育委員会や都道府県などに通知
- ・学校からのお便りもハンコレスに 国がデジタル化へ通知
- ・今後は、基山町立小中学校でも、お便りやアンケートなど保護者との連絡手段について、押印を省略してデジタル化を進めるように考えている。

⑥鳥栖法人会からの依頼

- ・今年度は、例年実施していただいている「租税教室」が開催されない。そこで、

以下のものを学校及び6年生に寄贈していただいている。

- <寄贈>・漫画で身に付く「税金の知識」
・租税教室用テキスト
・世界の消費税クリアファイル

⑦その他

- ・無料塾 NPO いるかねっと「きやまマナビバ」が、10月1日よりスタートした。タブレットを使ったオンライン授業を、4つの公民館・若基小学校にて開催。
⇒オンラインによるボランティアとの1対1の学習である。各会場10人の定員に達していないので、再度、呼びかけているところである。
⇒今後は、一人1台端末を持つので、放課後補充授業のあり方も変わってくるだろう。デジタル教材を使った学習の方法も検討していくことになる。
- ・佐賀新聞デジタル版について、小学校高学年、中学生に導入の依頼
- ・LGBTに関するアンケート結果（資料参照）
⇒ジェンダーレス制服については、8割近くの保護者が検討すべきだと考えている。
⇒県内でも、男女同様のデザインを考えている市町もある。
⇒福岡市や北九州市でも、ジェンダーレス制服を導入している。
⇒鳥栖市でも検討し始めているようだ。市内統一の制服で、校章のみ変えるという案もあるようだ。何年後からという具体的な計画段階までには至っていないが、将来的に、鳥栖基山地区の統一デザインにすることで、大量生産で価格を抑えることもできるのではないかと考えていかなければならないだろう。
⇒アンケートの結果から、LGBTに対して、保護者の関心が高いことが明らかになった。今後、この制服の件で、学校とPTAあるいは町教育委員会とどちらが主導権をとって進めていくのかも考えていかなければならない。

【教育長報告についての質疑応答】

- 制服についての概念が昔とは変わってきている。ジェンダーレスはよい。選択の幅が増えてきたこともよいと思う。誰でも、スカート、パンツ等を選ぶことができる。アンケートを見ていると、以前ほど制服に対するこだわりが無くなってきているのかと感じるが。
- かなり以前に小学校、中学校で、制服に対するアンケートをとったことがある。
 - ・基山小は、制服の廃止をした。その時も8割くらいの保護者が制服を変えてほしいとの結果だった。3年～5年位かかって、難航したが廃止となった経緯がある。アトピーや夏の暑さ等いろいろな問題で、制服を変えてほしいという考えが多かった。
 - ・中学校での結果は、保護者が「制服を廃止してほしくない」という結果だった。保護者の世代、その上の世代でも、「中学校以上は、制服がないといけない」という意見。その後のアンケートでも、同様の結果だったと記憶している。
- 私服になった場合の、生活による服の差別化が懸念されるが、制服があるとその心配はないというメリットがある。何もかも平等というのはどうかと思うが、子どもたちの選択肢が増えることはよいことだと思う。

- 小学校と中学校で、制服に対する考え方が違うだろう。小学校は、心身ともに成長著しいので、アトピーなど肌の問題など、決まった服を着ていくことで肌荒れを起こす子もいるので、それを強制する事はできないだろう。昨今の異常気象で、冬の気温がかなり低い中で、半ズボンをはいているのはどうか。夏も冬も昔とは気温が違う。
- 中学校以上は、統制や生徒指導の意味でも制服があった方が望ましいという考えもあるだろう。しかし、今から先の時代で、これだけ社会が変わろうとしている時代で、その考え方も時代錯誤ではないか。ある時期、こうした問題もきちんと考え直していくべきではないか。
- その高い制服を買わなくてはならない家庭の負担が大きい。また、中学校では、成長によって、制服を買い直さなければならないことがあり、さらに負担となる。
- リサイクルもあるが、家庭の貧困問題や一人親世帯の増加のこともあり、やはり家庭の負担は大きい。新政府の改革にもあるが、家庭の負担を減らすために、携帯電話の料金値下げの話がある。昔は、固定電話だけだったので、今よりも電話代は随分安かった。そういう問題も含めて、一人親世帯が増えているので、家庭の負担を軽減しつつ、何かもっといいアイデアを考えるべきではないか。制服と捉えるのか、ユニフォームと考えるのか、もっと気楽に考えてもいいのではないか。
 - ⇒若基小は制服着用だが、制服があるので洋服代が掛からなくてよいという声もある。
 - ⇒ジェンダーレスの制服になれば、兄弟姉妹でも互いに着る事はできるようになる。福岡市や北九州市の制服の価格を調べて、それをもとに、制服の価格については、再度協議していただきたい。
- 携帯電話の取扱いについてだが、今、学校で預かっている児童生徒はいるのか。
 - ⇒小学校も中学校も今のところいない。昨年度は、一定期間という条件で預かっている生徒はいた。
- デジタル化が進んでいる中で、子どもに携帯電話やスマートフォンを持たせることは増えてくるだろう。その中にGPS機能が付いているので、子どもの居場所が確認できる。安心安全のためにも今後考えていかなければならないだろう。今は、学校に入ったら電源がオフになり、学校から出るとオンになる機能も考えられている。いろんな意味で、柔軟に考えていく必要があるだろう。
- フッ素洗口だが、今、どれくらいの児童生徒が取り組んでいるのか。
 - ⇒小学校で9割、中学校でも8割以上だろう。
- 薬剤の値段も2～3倍になるようで、大変だろう。
- オンラインについてだが、これはもっと押し進めていくのがよいだろう。オンライン研修は、県教育委員会にも積極的に動いてもらわないといけない事。国は、今後、極力、対面での業務を減らそうとしている。コロナがきっかけになって、全て変わってくる。元には戻らない。できることは、全てオンラインでミーティングするようになる。学校と家庭をオンラインで繋ぐ事例があったが、基山町では、まず、学校内でのオンラインも進めてほしい。その中で、オンラインのテストを積み重ねてほしい。やはり、学校内部でオンライン授業を体験してほしい。

- ⇒今まで、学び合いをしてきた学習のあり方だが、コロナでそれができない。その代替策として、子ども同士のオンラインができないのか、先生たちも考えている。画面を通して意見を出し合ったり、画面を共有して、話し合いをしたりすることができないかを考えている。
- テレビもモニターとして活用し、大画面でオンラインミーティングをすることもできる。いろいろな方法があるから、ぜひ、学校でもやってみてほしい。慣れることが一番大切である。
- バッテリーの件だが、充電後 10 時間もつとの報告があったが、実際には半分くらいと考えておいた方がよい。今後、もっともたなくなつて、2～3時間となり、最後は充電できないことになる可能性もある。
- 台風での体育館の屋根の破損の件だが、これは、保険等は入っていないのか。
⇒保険は入っている。建物の共済があるので、保険適用の部分と、それ以外は国庫補助も使って修理をする。
- GIGAスクールの導入で、期待される効果だが、「不登校対応」は、大変効果的だと思う。先生とのオンライン学習を通して、不登校の児童生徒が少しでも学校に来られるようになったり、学習できるようになったりすることを期待している。
- 小規模特認校の件だが、先日の学校訪問で若基小学校を訪問したときに、特別支援学級の教育が充実していたように感じた。特別支援学級の人数は、どのようになるのか。
⇒特別支援学級の人数は、通常学級のクラス数には、反映しない。
⇒静かな環境で学習したいと思われて若基小学校を望まれる人がいるかもしれない。
- そうした部分も若基小の魅力になるのかと思うが、クラス数に反映しないと難しく。
⇒実際に、現 3 年生も支援学級の児童が通常学級に戻ってきたときに、40 人を越す学級になる。
- オンラインの考え方を教育委員会で先行して行っていくべきである。学習のあり方も今後は変わってくるだろう。これまでの慣習等に踏襲せず、チャレンジしていくことが大事である。相当の改革が進んでいくだろう。改革にはスピード感も必要である。
- 民間の企業でも、陶磁器や家具の世界でも国宝級の優れた技術と、今の新しい生活と共存していかなければならない。伝統や文化と目の前の生活とのバランスが難しい。残すものと変えるもの、バランスをとりながら、改革を進めていく。難しいと思うが。学校も、古いものを捨てながら、進んでいくことが求められるだろう。

3 議案審議

第24号議案 基山町公立学校情報機器（Wi-Fi端末）整備事業における事業者選定について

議案書により説明

⇒【第24号議案】承認

4 報告及び協議事項

(1) 11月臨時議会の概要について

議案書により説明

- ・700万円以上は、議会の承認が必要

⇒【第24号議案】承認

(2) 9月定例教育委員会会議録の承認について

議案書により説明

⇒承認

(3) 卒業証書授与式（案）

- ・令和2年度卒業証書授与式開催予定日の検討
- ・入学式の日程も含め、来月、正式に決定予定。

(4) 各学校の現状等報告（指導主事より）

①10月の行事について

- ・宿泊体験学習
- ・修学旅行
- ・小中連携による学力向上推進地域指定事業に係る公開授業
- ・放課後補充授業（i iゼミ、マナビバ、中学校）
- ・学校訪問
- ・就学時健診

②各学校の学習の様子、生活の様子

(5) 当面の行事予定についての確認

【次回の定例教育委員会】 11月25日（水）9：30～